



水土里情報を活用した、「ため池台帳データ更新・システムの構築」の事例について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体： 佐賀県、水土里ネットさが、佐賀県内20市町

取組概要

内容： 県内の決壊の恐れのある危険度の高いため池を把握し、適切に保全管理するため、佐賀県・水土里ネットさが・県内20市町が一体となってため池台帳の更新・システムの構築を実施する。

経緯： ①江戸時代後期から昭和初期にかけて、個人もしくは県内の各自治体で造成された農業用ため池の殆どは、造成後数十年以上経過し、近年、老朽化により決壊の恐れあるため池が増え始めた。

②これらのため池を保全管理するため、昭和58年度からため池台帳を各管理者ごとに保持・更新してきたが、県内で統一が図れずにデータ情報にばらつきがあり、施設の位置や諸元、現状の状態の把握に時間と労力を費やしていた。

③このようなことから、突発的な豪雨や近年多発している大規模地震により決壊の恐れのあるため池を把握し対策を講じるために、平成24年の県営震災対策農業水利施設整備事業を活用し佐賀県、水土里ネットさがが中心となって、県内で一括して管理できるシステムを早急に構築する必要があった。なお、ため池台帳システムは平成26年度完成予定である。

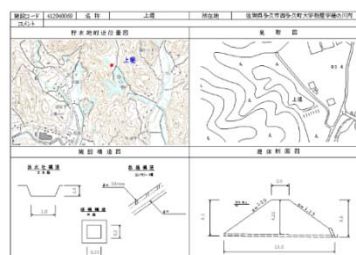


危険度の高いため池①(堤体の崩壊)



危険度の高いため池②(腰石積の崩壊)

ため池台帳(調書)



ため池台帳(施設構造図)

ため池点検票

期待される効果

- ① 水土里情報システムで作成した、ため池台帳システムを佐賀県・水土里ネットさが・県内20市町間で共有することで、ため池台帳を県内で統一を図りながら、常に最新の状態で管理することができるようになる。
- ② ため池台帳システムで管理することにより、県内のすべてのため池の位置情報が容易に検索可能となる。
- ③ ため池台帳システムで管理することにより、危険度の高いため池が画面上で視覚的に検索可能となり、ポイントをクリックするとため池台帳と写真閲覧できるため、現地に出向かずに現状の把握ができる。

ため池点検判定個票(豪雨時、地震時)

ポイントをクリック

凡例 <豪雨判定>	優先度高し	優先度低し
●	●	○
●	●	○
●	●	○

レコード番号	CODE	市町村名	ため池名	所在地	堤高	堤頂長	天端幅	堤体積	た
1	412020115	唐津市	岳	唐津市七	4.8	45	3.5	2214	03
2	412020146	唐津市	木場前中	唐津市相	2.5	16	1.3	134	03
3	412020281	唐津市	須無	佐賀県唐	4.5	59	7	2789	03
4	412020294	唐津市	仁田野尾	佐賀県唐	3.3	55	3.3	1369	03
5	412040069	多久市	上堤	佐賀県多	4.3	30	2	968	01
6	412050142	伊万里市	落合	伊万里市	4.3	80	2.5	3606	02
7	412050536	伊万里市	主屋(上)	佐賀県伊	4.8	28	2.2	1263	01
8	412050656	伊万里市	長田	佐賀県伊	8.95	50	3	8503	01
9	412051120	伊万里市	岩ノ本	伊万里市	5.7	36	2.6	2466	02

ため池台帳システム基本画面

ため池台帳個別情報画面

ポイントをクリック

今後の活用予定

ため池台帳システムと連携して、総貯水量5,000m³を上回る規模のため池を対象にした「ため池データベースハザードマップ簡易氾濫解析システム」を構築する。これを利用してため池ハザードマップを作成する予定である。

■お問い合わせ先

佐賀県土地改良事業団体連合会 換地用地課 水土里情報推進室(矢ヶ部、中井) 0952-24-6273 (直通)
 佐賀県 県土づくり本部 農山漁村課 農地防災担当(岸川、梶山) 0952-25-7125 (直通)
 農林水産省 農村振興局整備部 設計課計画調整室(細川、溝添) 03-6744-2212 (直通)